

# 若手職員からの提言

大館西地域担当 大館市 建設部 土木課 石川 大祐

大館南地域担当 大館市 建設部 土木課 武田 和也

大館市 建設部 土木課 包括業務メンバー



# 包括業務実施前の市の現状

## 従来工法による施工が中心

- 例) 1. 穴（ポットホール）が空いた箇所へ合材を入れて補修  
2. 全面打ち直し



合材投入



欠点 1は、穴が空いてからの事後対応となってしまう。再発しやすい  
2は、効果は大きいですが、施工費用が多額・施工期間が長くなるため、数年単位の期間が必要となる

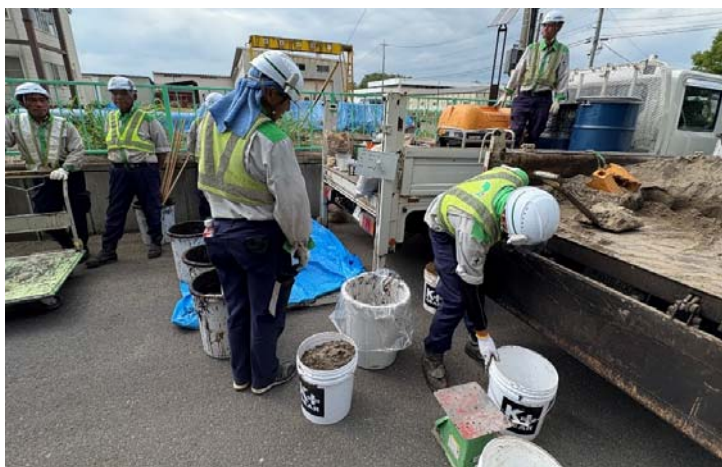


# 包括業務実施後の取り組み

## 従来工法を行いつつ、スーパーサーフトリートSによる事前予防の実施

- メリット
- ・ 事前に穴を防止することで、事故の発生が減少
  - ・ 舗装の耐久年数向上
  - ・ 一度に広範囲の施工が可能

- 未確認事項
- ・ 実証実験段階であるため効果が未知数  
→ 今後の結果を反映し、現場に合わせた施工



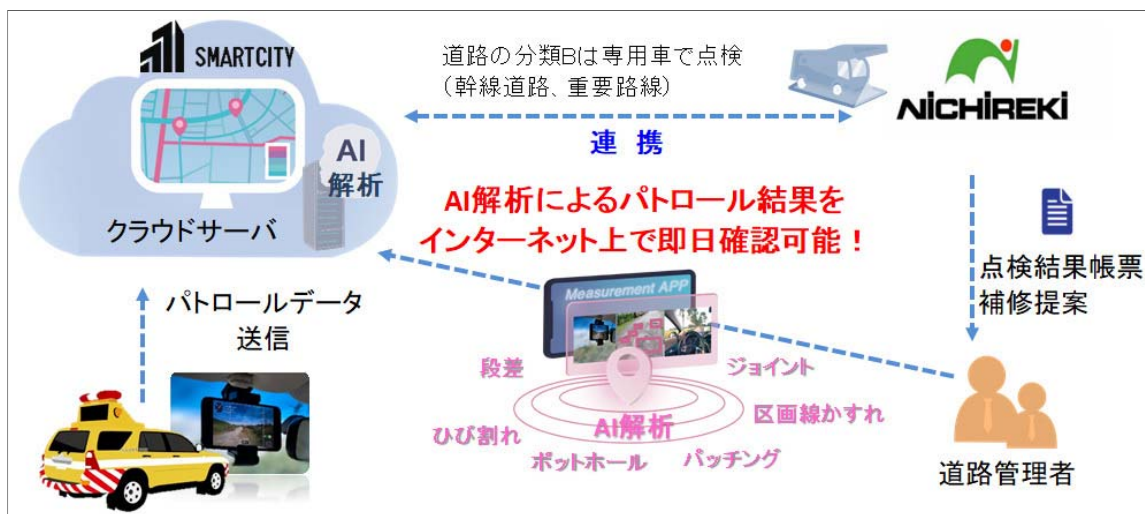
# 今後の取り組み

## ○地域の協力を得て道路維持管理の促進

- ・希望する町内会へ簡易補修材の配布
- ・参加町内会の拡大を推進

## ○AIを利用した路面調査の実施

グローバルアイズを利用し、道路のひび割れ率をデータ化し、道路補修計画へ反映







The screenshot displays the GLOCAL-EYEZ web application interface. The main view is a 3D street-level image of a road. A cyan rectangle outlines the measurement area. Within this area, various pavement defects are highlighted: pink lines for cracks, a red circle for a pothole, and a green circle for a road obstruction. The interface includes a map search bar on the left, a legend on the right, and a file details panel on the bottom right. The legend lists the following items:

- 計測範囲 (Measurement Area) - Cyan circle
- ポットホール (穴) (Pothole) - Red circle
- ひび割れ (亀甲状) (Cracks (Turtle Shell)) - Pink circle
- 道路占用物 (Road Obstruction) - Green circle

The file details panel shows the file name "2025/10/08 15:13:20" and the date "2025/11/11".



# 人口減少化社会であっても幸せを導くまちへ

○大館市人口  
64,314人  
○大館市世帯数  
30,983世帯  
(令和7年10月末現在)

○広大な面積  
913.22km<sup>2</sup>

○主な土地利用  
・森林:約78.8%  
・農地:約 8.4%  
・宅地:約 2.5%



- 中心市街地が戦後4度の大火→豊かな自然の恵みを糧に復興し後世へ継承
- 近代の産業は農業・林業・鉱業→現在は医療機器製造、リサイクル産業が基軸
- 人口減少(千人減/年)・少子化・高齢化率4割→定住・若者回帰・交流へ注力
- 心のバリアフリー醸成と多様なバリアフリー化を進め、互いを敬い寛容な社会へ
- 老朽化が著しい膨大なインフラの堅持へ、地域の総合力と群マネ手法で取り組み

子や孫世代と  
共に栄える  
大館へ

# 包括管理業務の導入効果

1. 要望へ迅速に対応でき、住民と請負者、市のつながりが深化
2. 企業体の方々が、道路・河川管理者の視点で業務遂行
3. 請負者、発注者共に事務作業が軽減し、課題解決や現場へ集中





# 地域と協働の環境美化活動

昨年7月に地元小中学生・地元町内会・受諾事業者・大館市の4者で  
市道4路線、合計約4kmにわたり清掃活動を実施





# シビックプライドの醸成

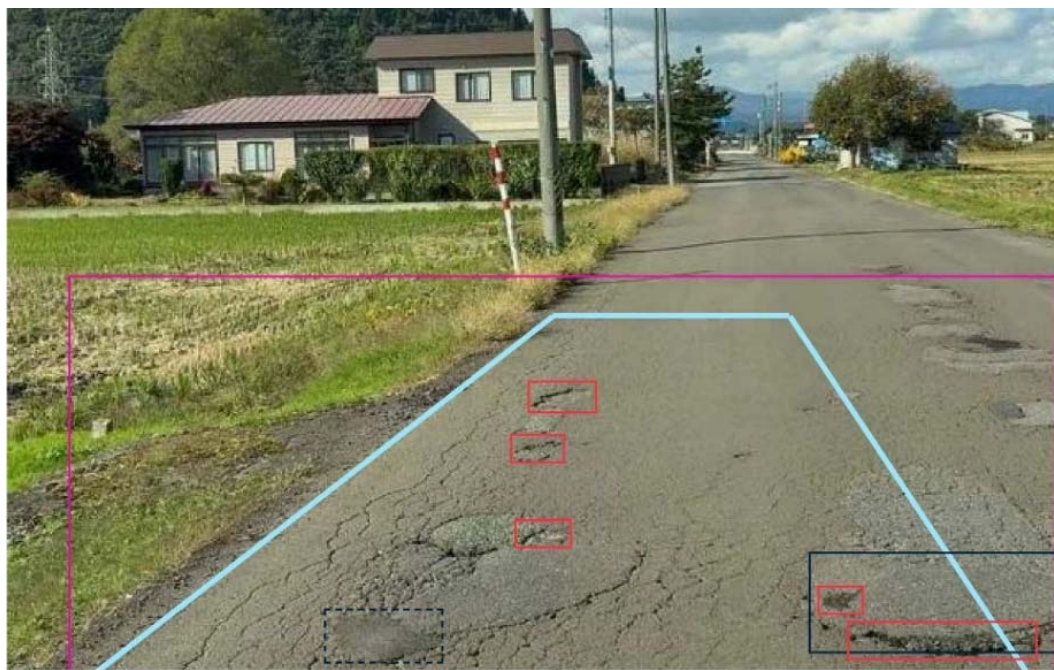
次世代を担う中学生が、通学路周辺を清掃 ➡ 地域やインフラへの関心





# これから実施したい取り組み

## 舗装補修の計画・設計指針の策定



## 河川巡視にドローンを活用



橋梁の統合やインフラの廃止は、利用者や市民の合意形成が大事  
地域の総合力と建設DX、制度設計再構築により暮らしを下支え



# 米代川の流域で発展してきた「秋田県北部地域」



米代川水系流域図

能代市 能代橋付近

北秋田市 猿部川合流部

大館市 扇田大橋付近

## 1. 米代川の概要

- (1) 流域面積 $A=4,100\text{km}^2$ (県面積の35%)
- (2) 幹線延長 $L=136\text{km}$ (直轄 $L=75.6\text{km}$ )
- (3) 河床勾配緩やか( $1/1,500\sim 1/5,000$ )

## 2. 米代川水系の産業

- (1) 農業: あきたこまち、ねぎ、枝豆等
- (2) 工業用水(地下水)活用の製造、加工業
- (3) 水力発電: 米代川水系の支川

## 3. 米代川の恵み

- (1) 水道の水源: 能代・大館・鹿角市等
- (2) 営み: 地酒、花火、アユ釣り、船下り
- (3) 暮らし: 親水公園、河川緑地、桜堤

## 4. 取り組み

- (1) 米代川圏域の産業振興、治水・減災対策  
※特定都市河川の指定、遊水地、ダム等
- (2) 低炭素型の国土づくり(風力・地熱等)
- (3) 汚泥資源化事業(流域下水道と循環)





# 先人が築いた資源や営みを後世へ継承



国指定名勝 **鳥潟会館庭園**



重要文化財 **大館八幡神社**



ライトアップ **大館駅東大館線**



**田代たけのこ祭り**



**大館石田ローズガーデン**



**比内とりの市**



# 良質なインフラが暮らしを支え、地方創成の礎を成す

長木川から望む鳳凰山「大文字」とJR花輪線

